



研究開発部門に期待する

常務取締役 渡 辺 茂

今次のイスラエルとアラブ諸国との争いは、地域的な民族間の争いのようなものであるが、現実にはアラブ諸国の採った石油に関する政治的手段により世界の先進国が困惑し、容易に根本的解決策が見出せないと言うのが現状である。特に我国は石油資源を巧みに利用することによって全世界に貿易の実を挙げ、国民生活の豊かさを築き得ただけにその成行きによっては蒙るであろう経済的な打撃は底知れぬものがある。

石油資源が多く地質上第三紀層以前のものに埋蔵されている事実から、その生成期は約5千万年以前に遡るがその大部分は今世紀始めまで静かに温存されていた。それを人類は今後数十年で採油消費してしまうかも知れない。私は今次の中東石油戦争を造物主が人類に対して与えた一つの警告と見るを得ない。

石油は又地球上無限に降り注がれた太陽エネルギーが動植物を介し、変形貯蔵されたものと言えよう。我々はこの豊富な石油資源を単にエネルギーとして消費し尽くすことを可能な限り避け、何等かの姿に代えて活用したいと言う願いを持っている。それを可能にする力は化学知識を中心とする開発能力である。又同じく地球に内蔵されている金属鉱物も貴重なる資源であり、今後消費することは許されるべきでない。今や世界は資源の問題を中必に政治も経済も動き始めている。

頭腦的資源以外に資源らしいものを持たない我国の産業のとるべき道は、今後益々険しいものと察せられる。これまでの我国産業、殊に化学工業の多くが資源多消費型であり、それなりに国民生活、国富に裨益するところがあったのであるが、今後資源の活用のためファインケミカル指向への関心が高まるとしても、幾多の集積された知識、技術の上に立っての研究開発努力でなければその成果を獲得することは容易であるまい。

当社の研究開発部門が現今の経済環境に先んじて、資源活用に関し先行的一步を踏み出されていることは洵に喜ばしい。

研究といい開発といい、直接的には企業生長の鍵としての使命を持つが、最終のねらいとするところは人類の文化向上に資すると言う高邁な理想にかかわるものである。それだけにその仕事にたずさわる者にとっては焦点がとかくぼけ易く、又創造思考力が失われ勝ちになろう。願わくば常に適切な目標に設うけ、絶えず前進しようとする意志と努力を重ねて倦むことない姿勢が望ましい。時節柄、研究開発に従事される人々の使命感の発揚に期待したい。